

---

## 平成23年度予算第一特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査 平成23年3月1日

質問者（質問順）

- 1 榑原泰子 委員（公明党）
- 2 大桑正貴 委員（無所ク）
- 3 関 美恵子 委員（共産党）
- 4 飯沢清人 委員（ヨコ会）
- 5 瀬之間康浩 委員（自民党）
- 6 横山正人 委員（自民党）
- 7 石渡由紀夫 委員（民主党）
- 8 荻原隆宏 委員（民主党）
- 9 藤田みちる 委員（ネット）
- 10 菅野義矩 委員（民主ク）

健康福祉局

## 局 別 審 査

### 1 榑原泰子委員（公明党）

#### 1 日本脳炎定期予防接種について

- (1) 現在までに積極的勧奨が差し控えられていた人たちの状況について伺いたい。
  - (2) 積極的勧奨の対象となった3歳児に対する接種の状況について伺いたい。
  - (3) 定期接種の対象から外れている、7歳半から9歳未満までの方や13歳以上の方への救済措置について伺いたい。
- (要望) 今後、定期接種の対象から外れたお子さんたちが公費での接種が可能となった場合には、本市においても円滑な実施ができるよう要望します。

#### 2 子宮頸がん検診について

- (1) 子宮頸がん検診の受診率の推移について伺いたい。
  - (2) 本市の子宮頸がん検診の検査方法とがん発見率について伺いたい。
  - (3) HPV検査併用による子宮頸がん検診についてどのように認識しているのか伺いたい。
  - (4) 本市の子宮頸がん検診におけるHPV検査導入についての見解を伺いたい。
- (要望) 女性の生命、健康な生活を守るためにも、細胞診とHPV検査を併用した検診の実施に向けて、前向きな検討を行っていただきたい。

#### 3 大腸がん検診について

- (1) 本市において大腸がん検診をどのように実施しているのか伺いたい。
  - (2) 23年度における大腸がん検診普及に向けての取組について伺いたい。
- (要望) 「働く世代の大腸がん検診推進事業」については、一人でも多くの市民が受診できるよう、早期の実施に向けて、今から進めていただきたい。

#### 4 救急搬送受入病院連携支援モデル事業について

- (1) 医療機関からみた搬送受入困難になりやすい事案は何か伺いたい。

- (2) 救急医療機関で救急患者を受け入れにくくしている背景について伺いたい。
  - (3) 病病連携を進めるうえで行政はどのように支援を行っていくのか伺いたい。
  - (4) 救急患者受入病院と連携病院に対してどのように支援を行っていくのか伺いたい。
- (要望) このモデル事業により、病病連携を進めていただき、その効果を検証しながら、さらに療養型介護施設との連携についても検討していただくことを要望します。

## 5 産科拠点病院事業について

- (1) 産科拠点病院を整備することの意義について伺いたい。
- (2) 産科拠点病院の整備要件について伺いたい。
- (3) 産科拠点病院の整備に向けた、医師確保の取組について伺いたい。
- (4) 他の医療機関との連携はどのように行っていくのか伺いたい。
- (5) 23年度の取組の具体的な進め方について伺いたい。

## 6 移動支援事業について

- (1) 移動支援のプロジェクトでどのような議論がされてきているのか伺いたい。
- (2) 22年度に行ったモデル事業の実施内容と成果、そこから見えた課題について伺いたい。
- (3) 23年度以降の移動情報センターの展開について、どのように取組んでいくのか伺いたい。
- (4) 今後の移動支援施策の再構築に向けた課題と、解決の方向性について伺いたい。

## 7 多機能型拠点について

- (1) 多機能型拠点を計画した背景について伺いたい。
- (2) 既存の支援事業所との役割の違いはどのような点か、またサービス内容はどのように拡充されるのか伺いたい。
- (3) 最初の2か所の開所までのスケジュールについて伺いたい。

- (4) 今後の全市展開に向けた整備の考え方を伺いたい。
  - (5) 多機能型拠点の役割や存在を、地域の医療機関に周知していく必要があると思うが、どのように取り組むのか伺いたい。
  - (6) 多機能型拠点という名称はわかりにくいので、施設の機能がわかりやすい名称をつける考えはないか伺いたい。
- (要望) 1日も早く充実した拠点が整備されること要望します。

## 8 よこはま市民健康ポイント事業について

- (1) 「100万人の健康づくり戦略」の中で、よこはま市民健康ポイントを導入しようという考えに至った経緯について伺いたい。
- (2) よこはま市民健康ポイント制度は、どのような仕組みにしようと考えているのか伺いたい。
- (3) よこはま市民健康ポイント制度を、将来的にどのように発展させていくのか伺いたい。
- (4) よこはま市民健康ポイント制度の事業化にあたっては、「食生活改善」や「肥満対策」などの視点も必要と考えるがどうか伺いたい。

## 9 地域の見守りネットワーク構築支援事業について

- (1) 地域の見守りネットワーク構築支援事業のこれまでの取組状況について伺いたい。
- (2) 地域の見守りネットワーク構築支援事業の課題について伺いたい。
- (3) 高齢者を地域で支える体制の充実に向けた今後の展開について伺いたい。

## 2 大 桑 正 貴 委 員 (無 所 ク)

### 1 小児医療について

- (1) 現場の医師の声をどのように把握しているか伺いたい。
- (2) 小児救急医療の適切な受診にむけての取組状況について伺いたい。
- (3) 平成23年度以降、どのように取り組んでいくのか伺いたい。
- (4) 所得制限を撤廃してすべての未就学児を対象とした場合、あとどれだけの費用がかかるのか。また、仮に小学校卒業まで対象年齢を拡大するとした場合、どれだけの費用がかかるのか伺いたい。
- (5) 小児医療費助成制度が子育て支援施策の中で果たしている役割と、制度拡充に対する考え方について伺いたい。

### 2 障害児・者の医療環境整備について

- (1) 障害のある方や、そのご家族の医療環境においては、どのような課題があるのか伺いたい。
- (2) 障害児・者の医療環境を充実させるために、どのような取り組みを進めているのか伺いたい。
- (3) 医療従事者向けの研修の具体的な取組内容について伺いたい。

### 3 介護支援ボランティアポイント事業について

- (1) 「ヨコハマいきいきポイント」の実施状況について伺いたい。
  - (2) これまでの実績を踏まえた事業の評価について伺いたい。
  - (3) 今後どのように事業を展開していくのか伺いたい。
- (要望) 高齢者の力を発揮できる場をさらに拡大していくことを要望します。

### 3 関 美恵子 委員（共産党）

#### 1 将来にわたるあんしん施策について

- (1) 後見的支援制度は徹底した説明と、家族の意見を聞きながら事業を推進すべきと考えるが、どうか。
- (2) 「あんしんキーパー」の確保者数及び利用者の登録数と、キーパー確保に向けた課題は何か伺いたい。
- (3) 「あんしんキーパー」の守秘義務はどのようになっているのか。また、利用登録者とのトラブルを避けるために、報酬を支払うなど一定の公的性格をキーパーに持たせる事ができないか伺いたい。
- (4) 「緊急時ホットライン」事業について、できるところから進めるべきと考えるがどうか。
- (5) 「精神障害者の家族支援」について、「家族の学ぶ場」は、どう取組んでいるのか、また今後も拡大していくのか伺いたい。
- (6) 将来にわたるあんしん施策の着実な推進のために、十分な予算の確保が必要と考えるがどうか。

#### 2 国民健康保険事業について

- (1) 2005年度と比較した2009年度の差押件数と、処分額の推移を伺いたい。
- (2) 差押え債権のうち、2008年度に比べ2009年度の預金の差押件数が大幅に増加した理由を伺いたい。
- (3) 年金が預金口座に入っている場合の取扱い、また自動車等の動産は差し押えているのか伺いたい。
- (4) 納付相談の段階で、生活保護への案内など差押処分を解消する対策を強化すべきと考えるが、どうか。
- (5) 緊急に医療を受ける必要があり、医療費全額の支払いが困難であるとの申し出があった場合、短期証への切り替えなどを区役所の判断としている理由

を伺いたい。

また、市の判断で、資格証明書等に明記するなどの対応をとるなど、改めて改善を検討すべきと考えるが、どうか。

#### 4 飯 沢 清 人 委 員 (ヨ コ 会)

##### 1 重度障害者医療費援助制度について

- (1) 本市が精神障害者に重度障害者医療費援助制度を適用していない理由を伺いたい。
- (2) 神奈川県内で精神障害者を重度障害者医療費助成制度の対象としている市町村はあるか状況を伺いたい。
- (3) 本市で精神障害者を対象とした場合に、どれくらいの費用がかかるのかを伺いたい。

##### 2 小児医療費助成制度について

- (1) 小児医療費助成の事業費が前年度よりも伸びていますが、その理由を伺いたい。
- (2) 他の大都市の小児医療費助成の内容は、本市と比較してどうなっているのか、また、自治体間で助成内容に差があることについて、どのようにお考えなのか伺いたい。
- (3) 横浜市として、小児医療費助成の制度拡充に向けて、これまでどのように取り組んできたのか伺いたい。
- (4) 所得制限の撤廃や対象年齢の拡大に取り組むべきだと考えますが、どうか。

##### 3 ドッグランの整備について

- (1) 動物愛護センターの特徴について伺いたい。
- (2) 動物愛護センターでは犬の飼い主に対してどのような事業を行うか伺いたい。
- (3) 市としてドッグランの適正運営や整備についてどう支援していくのか伺いたい。

5 瀬之間 康 浩 委 員 (自 民 党)

1 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業について

- (1) 相談窓口寄せられた相談件数はどの程度か。また、主な相談内容はどのようなものか伺いたい。
- (2) 今回のワクチン接種事業の広報はどのように行っているのか伺いたい。
- (3) ワクチンの接種回数や医療機関における予約状況について、どのように把握しているのか伺いたい。

2 肺がん検診について

- (1) 本市における肺がんの罹患者数、死亡者数の推移について伺いたい。
- (2) 本市における肺がん検診の実施状況について伺いたい。
- (3) 肺がん検診における精度向上への取組について伺いたい。
- (4) 今後の肺がん検診モデル事業の展開について伺いたい。

3 介護保険地域密着型サービスについて

- (1) 認知症高齢者グループホームと小規模多機能型居宅介護事業所の整備の進捗状況について伺いたい。
- (2) 最近3年間に廃止した認知症高齢者グループホーム及び小規模多機能型居宅介護事業所の数と理由を伺いたい。
- (3) これまで、どのような支援を行ってきたのか伺いたい。
- (4) 今後の地域密着型サービスの整備について、どのように考えているのか伺いたい。

4 福祉人材確保事業について

- (1) これまでどのような福祉人材確保策に取り組んできたのか伺いたい。
- (2) これまでのヘルパー増加作戦事業の成果を伺いたい。
- (3) ヘルパー増加作戦事業の補助率を半額補助から20%補助にした理由と事業

効果の見通しを伺いたい。

- (4) 求職者と求人事業所のマッチングとしてどのような取組を行っているのか伺いたい。
- (5) 福祉保健人材の養成・確保を図るための施設である「福祉保健研修交流センターウィリング横浜」が、有資格者の就労や職場復帰に向けてどのような取組を行っていくのか伺いたい。
- (6) 若い世代に向けてどのような取組を行っていくのか伺いたい。
- (7) 福祉人材の確保に向けた決意を伺いたい。

## 5 生活保護の自立支援について

- (1) 最近の生活保護受給者の特徴として、どのような年齢層が増加しているのか伺いたい。
  - (2) 本市は、これまで生活保護受給者の就労支援にどのように取り組んできたのか伺いたい。
  - (3) 生活保護受給世帯の子どもの中学校卒業後の進路について伺いたい。
  - (4) 生活保護受給世帯の子どもの学習支援に、現在どのように取り組んでいるのか。また、23年度は、どのような取組を考えているのか伺いたい。
- (要望) 財政状況が厳しい中、ぜひ、働ける生活保護受給者の自立を後押しする就労支援とともに、貧困の世代間連鎖を断ち切るための取組を積極的に行うことを要望します。

## 6 障害者支援事業における新たな課題への対応について

- (1) 発達障害のある方を支援するための取組内容について伺いたい。
- (2) 発達障害のある方やご家族の相談支援体制を今後どのように構築していくのか伺いたい。
- (3) 発達障害のある方を支援するスタッフのスキルの向上にどのように取り組んでいくのか伺いたい。
- (4) 高次脳機能障害のある方はどのようなことで苦しんでいるのか改めて伺いたい。

- (5) 高次脳機能障害のある方への支援にあたっての課題について伺いたい。
- (6) 今後、どのような計画で支援体制の構築を進めていくのか伺いたい。

## 7 食の安全と衛生研究所の再整備について

- (1) A P E Cに対してどのような食中毒予防対策を行ったのか、今後、国際会議等が開催された場合どのような姿勢で取り組んでいくのか伺いたい。
- (2) 企業の自主検査に対する指導はどのように行っているのか伺いたい。
- (3) 多数輸入食品等が流通する状況から食の安全をより確保するため、今後、衛生研究所はどのような検査を拡充、強化すべきか伺いたい。
- (4) 市民の健康を守るため、今後、衛生研究所に期待される役割について伺いたい。
- (5) 衛生研究所再整備の進捗状況と、用地取得を1年前倒しした理由と効果について伺いたい。
- (6) なぜ用地取得面積を650㎡としたのか伺いたい。
- (7) 地元からの意見や要望について、どのようなものがあるか伺いたい。
- (8) 今後の整備スケジュールについて伺いたい。
- (9) 衛生研究所の再整備も含め、食の安全に関する決意について伺いたい。

6 横山正人委員（自民党）

1 生活保護の不正受給対策及び減免・優遇制度について

- (1) 本市の不正受給の件数、金額、内容はどうなっているのか伺いたい。
- (2) 本市では不正受給の早期発見、未然防止のためにどのように取り組んでいるのか伺いたい。
- (3) 本市の施策の中で、生活保護世帯を対象とした減免・優遇制度について、これまでにどのような形で見直しを行ってきたのか。また、現在どのようなものがあるのか伺いたい。
- (4) 生活保護受給者に対する減免・優遇制度について、あらためて全市の状況を把握し見直すべきと考えるが、どうか。
- (要望) まずは早急に全市的に減免・優遇制度の調査を行い、改めるべきものは改めてほしいと考えます。

2 国民健康保険事業について

- (1) レセプトの電子化とはどのようなものか伺いたい。
- (2) 横浜市にとってどのようなメリットがあるのか伺いたい。
- (3) 電子化の横浜市の状況はどうか伺いたい。
- (4) 電子化が進まない理由は何か伺いたい。
- (5) 電子化を進めるための助成に取り組む考えはないか伺いたい。
- (6) 横浜市としてのレセプト点検実績はどのくらいか伺いたい。
- (7) 今後も横浜市としてのレセプト点検は続けていくのか伺いたい。
- (8) 電子化のメリットを最大限に活かすため、今後、どのように取り組んでいくのか伺いたい。

3 市営斎場管理運営事業について

- (1) 市営4斎場における過去3年間の火葬実績について伺いたい。
- (2) 市営4斎場における火葬待ちの状況について伺いたい。

- (3) 火葬待ちが長いことに対する認識について伺いたい。
- (4) 今後の改善策についてどのように考えているのか伺いたい。
- (5) 火葬予約の方法を含めシステムを変更すべきと考えますが、どうか。

#### 4 若年層の薬物乱用防止対策について

- (1) 若年層への大麻など違法薬物の広がりについて現状を伺いたい。
- (2) 本市の若年層に対する薬物乱用防止対策について伺いたい。
- (3) 実施している啓発の効果についてどのように検証をしているか伺いたい。
- (4) 薬物乱用防止啓発における本市と薬剤師会の連携について伺いたい。

7 石 渡 由紀夫 委 員 (民 主 党)

1 将来にわたるあんしん施策について

- (1) 平成23年度の予算額が減少している理由について伺いたい。
  - (2) 将来にわたるあんしん施策のなかで、特筆すべき事業について伺いたい。
  - (3) 医療的ケア研修の実施状況と今後の方向性について伺いたい。
  - (4) 障害者ガイドヘルプ事業の対応時間や範囲の制限の緩和の考え方について伺いたい。
  - (5) 多機能型トイレの整備や駅周辺における設置箇所マップの作成について、それぞれ現在の状況と今後の方向性について伺いたい。
- (要望) 障がい者にとっては、一つ一つがとても重要な事業であり、これからも着実に事業展開することを要望します。

2 がん検診事業について

- (1) 乳がん検診受診率の推移について伺いたい。
- (2) 乳がん検診の受診率が向上していますが、その理由について伺いたい。
- (3) 今後さらに受診率を向上させることが重要ですが、どのような取り組みを考えているか伺いたい。
- (4) 乳がんマンモグラフィ検診を実施している医療機関の数について伺いたい。
- (5) 今後検診受診の啓発が進むと受診者数が増加することが想定されますが、検診実施体制の整備について、どのように考えているか伺いたい。

3 福祉人材確保事業について

- (1) 福祉人材については、全国的にも不足しているといわれていますが、本市における福祉人材不足の状況について伺いたい。
- (2) 福祉人材確保に関する予算について、平成23年度予算額が前年度と比較して大幅に減少していますが、その理由について伺いたい。
- (3) 「働きながら資格をとる」介護雇用プログラム推進事業では何人の雇用を生

み出すのか、また、海外からの介護福祉人材就労支援事業では、何人の受け入れを予定しているのか伺いたい。

(4) 「働きながら資格をとる」は、予算額のわりには雇用の創出人数が少ないように見えるが、当局の感想を伺いたい。

(5) 一人あたりの雇用者数に対する額を減らしてでも、できるだけ多くの雇用を増やすことが望ましいと思いますが、考え方について伺いたい。

#### 4 高齢者等買い物サポート事業について

(1) 高齢者等買い物サポート事業の具体的な内容について伺いたい。

(2) 民間でも同様のサービスをやっているところはあるのか伺いたい。

(3) この事業は今後ますますニーズが高まっていくことが予想されますが、事業の将来像について伺いたい。

#### 5 集合住宅等総合支援事業について

(1) 集合住宅等総合支援事業の具体的な内容について伺いたい。

(2) この事業の効果および事業をすすめていく上での課題について伺いたい。

(3) まだまだこれからという事業ですが、話の行き違いや場所がわからないために到着が遅れるというようなトラブルの発生が想定されますが、その際の責任問題についてはどのような取り扱いとなるのか伺いたい。

(4) この事業の将来像について伺いたい。

## 8 荻原隆宏委員（民主党）

### 1 障害のある方達の製品を売る機会の確保について

#### (1) 売る場所の確保について

ア 障害のある方達が作った製品を売る場所の確保について、市はどのような支援を行っているのか伺いたい。

イ 売る場所をさらに確保して欲しいという声を現場から聞くが、どのような対応が可能か伺いたい。

ウ 常設店舗を開き、製品販売の場を日常的に確保することは可能か伺いたい。

#### (2) サッカー・野球等スポーツ・文化芸術団体との連携について

ア 市が支援して、スポーツ試合又はイベント時に主催者と連携して作業所製品を販売したことはあるか伺いたい。

イ 地元スポーツチームと連携して作業所製品を売ることは出来るか伺いたい。

ウ 市社協のハートメイドのブランドを活用して展開してはどうか伺いたい。

エ 作業所製品の販路開拓については、関係局や市社協と連携して積極的に進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

#### (3) 共同受注事業について

ア 開発営業は何人で行っているのか伺いたい。

イ 共同受注事業の実績はどのようなものか伺いたい。

ウ 共同受注事業の今後の目標はどのように考えているか伺いたい。

(要望) 共同受注にあたる専任の嘱託員を増員して、受注の件数を増やしていただきたい。

### 2 歯科・口腔ケアについて

(1) 歯周病菌の全身への影響をどのように考えているか伺いたい。

(2) 市民への啓発はどのように進めているのか伺いたい。

(3) 歯科節目検診とはどのようなものか伺いたい。

(4) 歯科節目検診の受診率はどの程度か伺いたい。

- (5) 歯科節目検診の周知はどのように行っているか伺いたい。
- (6) 介護施設での歯科医の配置義務はあるか伺いたい。
- (7) 歯科・口腔検診の受診機会を増やすべきと考えるが、事業所での歯科・口腔検診の義務付けや国民健康保険のみ加入で低所得者である場合の補助等は可能か伺いたい。

### 3 特別養護老人ホームについて

- (1) 社会福祉総務費に民間福祉施設大規模修繕検討費が計上されているが、具体的に何を検討するのか伺いたい。
  - (2) どういった問題意識が根底にあるのか伺いたい。
  - (3) 現在修繕が必要と思われる特別養護老人ホームはどのくらいあるのか伺いたい。
  - (4) 現時点で、特別養護老人ホームの大規模修繕に関してどのような制度が望ましいと考えているか伺いたい。
  - (5) 入所待ち人数は5,042名、そのうち要介護3以上が3,622名、アンケート結果では「現在の住まいの近くにある施設だけを希望する」が62.5%、施設の偏在があるとこのニーズには応えられないが、どのように対処していくのか伺いたい。
  - (6) ユニット型の施設の普及進捗はどのようなものか伺いたい。
  - (7) 厚生労働省は2014年には全入所者70%がユニット型であるよう目指すとしているが、あと何床必要か伺いたい。
  - (8) その目標は達成できそうか伺いたい。
  - (9) 今後どのようにユニット型の普及を進めるのか伺いたい。
  - (10) ユニット型の普及についての大場副市長の意気込みを伺いたい。
- (要望) 障害のある方達への自主製品、特別養護老人ホームに入られる方々への市のしっかりした支援を進めるよう要望します。

9 藤田みちる委員（ネット）

1 障害者自立生活アシスタント事業について

- (1) この事業によってどのような効果が見込まれるのか伺いたい。
- (2) 障害種別ごとに事業を実施するねらいは何か伺いたい。
- (3) 事業を進める上での課題としてどのようなことがあるか伺いたい。
- (4) 今後、どのようにこの事業を展開していくのか伺いたい。

2 医療と福祉の連携について

- (1) 精神科身体合併症転院受入病院の事業の内容と実績について伺いたい。
- (2) 医療政策室において、どのように福祉との連携を図っていくのか伺いたい。

10 菅野義矩委員（民主ク）

1 精神科救急医療体制について

- (1) 精神科救急医療体制の課題について伺いたい。
- (2) 23年度においては、どのような取り組みを行うのか伺いたい。

2 医療のグローバル化について

- (1) 医療ツーリズムについて、本市の医療機関の受入状況を伺いたい。
- (2) 医療ツーリズムについて、医療政策上の課題を伺いたい。
- (3) 医療ツーリズムの受入に対する、健康福祉局としての考えを伺いたい。